



未来を担う

すべての子どもたちが  
健やかに育まれるために



遊びで身に付く大切なチカラ

自主性

創造性

心身の  
成長

思いやり  
などの  
社会性

『遊び』のできる環境づくりへの取り組み

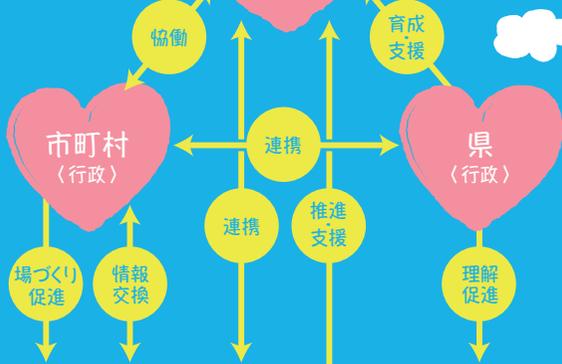
遊ぶ場所の整備 + 遊ぶ時間の確保

⇒ 子ども同士が自由に没頭して『遊ぶ』

遊びの専門家

遊びを推進する  
民間団体  
地域組織

遊びの専門家:子どもの遊ぶ環境を作り、それぞれの子どもに寄り添いながら、地域社会との関係をつなく専門分野(プレイワーク)に従事する専門職(プレイワーカー等)のこと。



etc.

お父さん、お母さん  
子どもの時の『外遊び』は  
人間力を<sup>みが</sup>研く大切な時間です



Check it out!

# 遊び

茨城県青少年健全育成審議会

地域における  
子どもの『遊び』  
推進・支援

お問合せ

茨城県保健福祉部子ども政策局  
青少年家庭課 青少年担当

〒310-8555 茨城県水戸市笠原町978-6

TEL.029-301-2183 FAX.029-301-2189

E-mail.seishonen@pref.ibaraki.lg.jp



## はじめに



『茨城の未来をつくる子どもたちに、元気に育ってほしい。』これは親をはじめとする、みんなの願いです。しかし、家庭・地域が担う役割の変化や、IT技術の高度化で、社会は急激に変化し、子どもたちを育む場所・時間・人との関わりも限定的なものとなりました。そんな現代において、健やかな成長に欠かせない原体験となるのが、子どものときの「遊び」です。

「遊び」が成長に与える影響力を理解し、行政や関係機関、地域社会と共に連携し、支え合うことで、元気いっぱい遊ぶ子どもたちを、育てていきましょう。

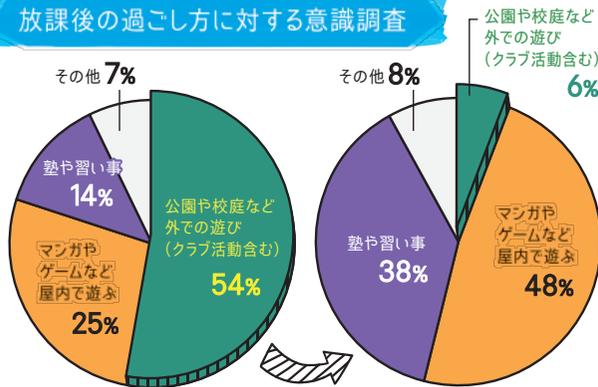
## 「外遊び」が減ってしまった原因は？

「子どもには外で元気に遊んでほしい」とは思うけど…

- ① 塾や習い事で忙しい
- ② 不審者や事件・事故など、子どもが犯罪へ巻き込まれることへの不安
- ③ 安全に遊べる広場や公園が少ない



## 放課後の過ごし方に対する意識調査



意識調査の結果、親の世代では、「外遊び」が多かったのに対し、今の子どもたちは、「屋内で、特に電子ゲームをしている」と感じる方が最も多いという結果となりました。

## 確認！ 本来の「遊び」とは？

「遊び」とは、子どもが自由(主体的)に選択し、人や自然にふれながら没頭して、楽しく過ごすことです。電子ゲームや塾などに時間を費やすことは、「遊びを自由に選べる空間」や「没頭する時間」、「遊び仲間」を失っていることとなります(三間の喪失)。

お子さんとチェックしてみよう！

年上または年下の友達がいない。  
としようえ としたした ともだち

家の近くに、安心して遊べる公園などが無い。  
いえ あんしん あそ ころん

外で遊ぶのは、週2日以内である。  
そと あそ しゅう か い ない

右項目をチェックしてみてください。  
☑が多いほど、「遊び」について考えてみる必要があります。

## なぜ？ 「外遊び」が重要？

人や自然にふれ、試行錯誤しながら、自ら創り出した遊びに没頭することで、「自主性」や「創造性」、「心身の成長」、「思いやりなどの社会性」が培われるからです。



## 「遊び」の推進・支援のために 子どもの遊び Support

### 「遊び」の意義を理解する

- ① 子ども自身が決める遊びの意義  
自主性や創造性などのチカラを育みます。
- ② 外遊びの意義  
体力の向上や心身の上手なコントロール力を高めます。
- ③ 年齢が異なる子ども同士の遊びの意義  
相手に合わせて工夫することや思いやりを学びます。
- ④ 身近な場所で気軽にいつでも参加できる遊びの意義  
健全な心身の成長につながります。

### 「遊び」の環境づくりに向けて

- 親 子どもの気持ちに寄り添い関わる
- 地域 地域の人々による子どもの見守りを推進
- 遊び場 遊びを支える大人による遊び場づくりの推進
- 安全管理 遊び場の安全管理力の向上



### 「遊び」を支えるための連携体制

各地域でさまざまな団体が、子どもの遊びに取り組んでいます。県の取り組みは以下をご参考ください。



### 【遊び場などの紹介サイト】

いばらき結婚・子育てポータルサイト  
<https://www.kids.pref.ibaraki.jp/kids/nursing/>



茨城の生涯学習  
<https://www.gakusyu.pref.ibaraki.jp/>

※①②出典 第一生命経済研究所「小学生の放課後の過ごし方の実態と母親の意識」